

大人のための絵本 大人も楽しめる絵本

……例えは
二人のあります……



『ごんぎつね』 (偕成社)
新美南吉 作 黒井健 絵
兵十が病気の母親のためにとった
ウナギをごんは……。



『生きる』 (福音館書店)
谷川俊太郎 詩 岡本よしろう 絵
詩「生きる」が絵本になっています。



『わすれられないおくりもの』
スーザン・バーレイ さく えい川仁央 やく
(評論社)
死を通して生き方を考えさせられます。



『いいー日ってなめに?』
ミーシャ・アーチャー 石津ちひろ 訳
(BL出版)
日々のささやかな幸せを
大切にしたいくなります。



『ぜっぽうの濁点』
作原田崇典 絵 柚木みづ那
(教育画劇)
「ぜっぽう」に仕える濁
点の「い」が主人公。
ラストに乞うご期待!

絵本はともだち



『たいせいなこと』
マーガレット・ワイス・ブラウン さ
レード・ワイスガード 文
うちだややこやく (フレブル館)
地球のあらゆるものに意味
があり、それぞれのありのままの
大切さに気付かされます。最
後に素敵な言葉があります。
“あなたに、あなたに。
あなたにとって、たいせいなのは何……?”



『たんぽぽになリたくて』
内田麟太郎 文
南塚直子 絵 (童心社)
たんぽぽのわたが
風によって笑いな
ら飛んでいくそのわけは……
飛んでいるわたがの気
分を想像して楽しくな
ります。



『おさむのジョージ木をうえよう』
M & H. A. レイ 原作
福本友美子 訳 (岩波書店)

「けにずらジョージ」シリーズは、半世紀にわたって
世界中の子ども達に愛されています。子どもの成長を
知りたがりやのかわいいこぎるを通して学べること
がとても良いと思います。『おさむのジョージ木をう
えよう』では、リサイクルのために紙を集めます。
地球にやさしくくらしをジョージも学んでいますよ。